

第6章 創造的な未来を切り拓く子ども・若者の育成の推進

第6章 創造的な未来を切り拓く子ども・若者の育成の推進

第1節 グローバル社会で活躍する人材の育成

1 国際交流・国際理解教育の推進

(1) 海外派遣状況

ア 内閣府青年国際交流事業

この事業は、日本や各国を代表する青年が、共に国際的課題についてのディスカッション等の活動を行うことを通じ、国際的視野を広げ、国際協調の精神と実践力を向上させ、リーダーの育成を目指すことを目的に内閣府が毎年度実施しているもので、以下に述べる5つの事業で構成されている。

各事業に参加する青年については、各都道府県で参加申し込みを受け付けた後、各都道府県での中間選考を経て内閣府に推薦され、最終選考を兼ねた事前研修の結果を踏まえて、最終的に各事業への参加者が決定されている。

(ア) 国際青年育成交流事業

平成5年の天皇陛下の御成婚を記念して平成6年から開始した事業であり、3か国に日本青年を派遣している。訪問国では、地元青年との社会事情に関するディスカッション、日本文化の紹介、施設訪問、ホームステイなどを行う。また、帰国後は日本に招へいした外国青年と共に国際青年交流会議（合宿形式でのディスカッション）に参加する。

(イ) 日本・中国青年親善交流事業及び日本・韓国青年親善交流事業

日本・中国青年親善交流事業は、昭和53年に日中平和友好条約が締結されたことを記念して、昭和54年度から開始された事業で、日本・中国両政府が共同で実施している。中国に日本青年を派遣し、現地青年とのディスカッション、日本文化の紹介、各種施設の訪問、ホームステイ等を行う。日本に招へいする中国青年と交流する機会もある。

また、日本・韓国青年親善交流事業は、昭和59年9月の日韓両国首脳会談における共同声明の趣旨を踏まえ、昭和62年から開始した事業で、両政府が共同で実施している。韓国に日本青年を派遣し、現地青年とのディスカッション、施設訪問、ホームステイを行う。日本に招へいした韓国青年と「日韓青年親善交流のつどい」に参加する機会もある。

(ウ) 「世界青年の船」事業

国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行うことができる青年の育成や国境を越えた人的ネットワークを構築することを目的として実施している。日本及び外国青年が生活を共にしながら、いくつかのコーステーマごとのコースディスカッションや各国事情を紹介しあうナショナル・プレゼンテーションなどを行うほか、訪問国では、地元青年との交流を行う。

(エ) 「東南アジア青年の船」事業

昭和49年1月のインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール及びタイと日本との共同声明に基づき始められた事業で、日本とASEAN加盟10か国の政府が共同で実施している。日本と東南アジアの青年が船内で生活を共にしながら、テーマに基づくディスカッション活動等を行うほか、各訪問国では、地元青年と文化紹介やホームステイ等を通じた交流を行う。

(ウ) 地域課題対応人材育成事業

高齢者関連、障害者関連、青少年関連分野の社会活動に携わる日本青年を3か国へ派遣し、各分野の地域社会活動において中心的担い手となる人材を育成する。訪問国では、関係機関や施設等の訪問及び意見交換、派遣分野の事情及び背景や社会活動に関する先進的な取り組みを学ぶほか、ホームステイ等による交流を行う。

第2-6-1表 青森県からの内閣府青年国際交流事業派遣状況

(単位：人)

事業名	年度	平成26年度 までの累計	27	28	29	30	令和元	合計
青年海外派遣		66	2	—	2	1	2	73
国際青年育成交流								
日本・中国青年親善交流								
日本・韓国青年親善交流								
世界青年の船		21				1	—	22
東南アジア青年の船		9	—	—	—	—	—	9
次世代グローバルリーダー		0	—	1	—			1
地域課題対応人材育成		0	—	—	—	—	—	0
計		96	2	1	2	2	2	105

資料：青少年・男女共同参画課

イ 青年農業者の海外研修

公益社団法人国際農業者交流協会が行う、20代の農業青年を対象としたアメリカ、ヨーロッパでの長期研修プログラムへの参加推薦により、青年農業者の農業技術や経営管理能力の向上、国際的視野の拡大を図っている。

第2-6-2表 青森県からの青年農業者海外研修推薦状況

(単位：人)

区分	年度	H25	26	27	28	29	30	R1
アメリカ		—	—	1	—	—	—	—
オランダ		—	—	—	—	—	1	—
計		—	—	1	—	—	1	—

資料：構造政策課

(2) 外国青年受入状況

ア 外国青年招致事業

県内における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流の発展を図るため、総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治体国際化協会の協力の下に「語学指導等を行う外国青年招致事業」を実施しており、本県の令和元年度の受入状況は次のとおりである。

(ア) 日本人教師の外国語授業の助手として職務に従事する「外国語指導助手（ALT）」150人を招致し、主に教育委員会または私立学校に配置した。(第2-6-3表)

(イ) 外国からの訪問客の接遇、外国語刊行物の翻訳・監修、イベント等の通訳などの職務に従事する「国際交流員（CIR）」16人をアメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、モンゴル、韓国及び中国の各国から招致し、県及び市町村に配置した。

なお、昭和62年度からの招致人員は延べ3,293人である。(第2-6-4表)

第2-6-3表 語学指導等を行う外国青年招致人員内訳(令和元年7月1日現在)

〈国別〉		(単位:人)
区 分	計	
ア メ リ カ 合 衆 国	128	
イ ギ リ ス	8	
オーストラリア連邦	6	
ニュージーランド	1	
カ ナ ダ	11	
ア イ ル ラ ン ド	1	
ド イ ツ 連 邦 共 和 国	1	
中 華 人 民 共 和 国	2	
大 韓 民 国	3	
ロ シ ア 連 邦	1	
モ ン ゴ ル 国	1	
フ ィ リ ピ ン 共 和 国	2	
トリニダード・トバゴ共和国	1	
計	166	

〈職業別〉		(単位:人)
区 分	計	
外国語指導助手(ALT)	150	
国際交流員(CIR)	16	
計	166	

資料:誘客交流課

第2-6-4表 語学指導等を行う外国青年招致事業外国青年招致数（令和元年7月1日現在）

（単位：人）

団体名	平成31（令和元）年度			平成30年度			昭和62年度～平成29年度				
	CIR	ALT	計	CIR	ALT	計	CIR	専任PA	ALT	SEA※	計
青森県	4		4	4		4	118				118
教育庁		29	29		29	29		2	880	5	887
小計	4	29	33	4	29	33	118	2	880	5	1,005
青森市	3	17	20	3	15	18	62		175		237
弘前市	1	16	17	1	16	17	5		123		128
八戸市	1	17	18	1	17	18	21		203		224
黒石市	1	4	5		3	3			42		42
五所川原市		3	3		3	3			68		68
十和田市		8	8		8	8	2		74		76
三沢市		2	2		2	2			30		30
むつ市	1	5	6	1	4	5	14		87		101
つがる市	1	3	4	1	3	4	31		84		115
平川市		2	2		2	2			52		52
平内町		2	2		2	2			31		31
今別町	1	1	2	1	1	2	1		22		23
蓬田村		1	1		1	1			16		16
外ヶ浜町		2	2		2	2			28		28
鱒ヶ沢町		3	3		3	3	13		22		35
深浦町		2	2		2	2	5		28		33
西目屋村											
藤崎町		1	1		1	1			26		26
大鱒町		1	1		1	1			23		23
田舎館村		1	1		1	1	6		3		9
板柳町		1	1		1	1	21		28		49
鶴田町	1	1	2	1	1	2	26		30		56
中泊町		2	2		2	2			53		53
野辺地町									7		7
七戸町		2	2		2	2	9		35		44
六戸町		3	3		3	3	16		6		22
横浜町		2	2		2	2			10		10
東北町		2	2		2	2			19		19
おいらせ町		3	3		3	3			12		12
六ヶ所村	2		2	2		2	30		24		54
大間町									14		14
東通村									5		5
風間浦村		1	1		1	1			16		16
佐井村		1	1		1	1			13		13
三戸町		1	1		1	1			37		37
五戸町		3	3		3	3			59		59
田子町		1	1		1	1			30		30
南部町									52		52
階上町		2	2		2	2			25		25
新郷村									6		6
中部上北広域事業組合		1	1		1	1			29		29
東部上北教育研究協議会									48		48
市町村計	12	117	129	11	113	124	262		1,695		1,957
私立学校		4	4		3	3			5		5
県計	16	150	166	15	145	160	380	2	2,580	5	2,967

（注）※はスポーツ国際交流員

資料：誘客交流課

イ 海外技術研修員の受入れ

開発途上国の優秀な青年を受け入れ、その国の発展に必要な技術を習得させ、これを活かして研修員が自国の経済発展に貢献するとともに、県民との交流を通じて、日本の社会、経済、文化、習慣等についての理解を深め、日本との友好関係の増進に寄与することを目的としている。

本事業は、昭和49年度から実施しており、平成30年度までの累計で海外青森県人会等の推薦による海外技術研修員255人を受け入れている。(第2-6-5表)

第2-6-5表 海外技術研修員国別・年度別受入状況(平成31年4月1日現在)

(単位:人)

	S49~ H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
ブラジル連邦共和国	168	2	2	2		1						175
アルゼンチン共和国	17											17
パラグアイ共和国	13					1	1		1		1	17
中華人民共和国	30											30
大韓民国	9											9
モンゴル国	1											1
マレーシア	1											1
フィリピン共和国	2											2
モロッコ	2											2
トンガ王国	1											1
計	244	2	2	2	0	2	1	0	1	0	1	255

資料:誘客交流課

(3) その他

ア 青年海外協力隊

青年海外協力隊は、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施しているボランティア事業の一つで、開発途上国の人々のために、自分の持っている技術や経験を生かしたいという強い意欲を持った青年を派遣する事業である。

本事業の昭和40年発足以来、本県からは、世界73ヶ国で452人の派遣実績がある。(令和元年7月1日現在)(第2-6-6表)

- (ア) 対象国:アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東、欧州の約90か国
- (イ) 活動分野と職種:計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野、約120職種
- (ウ) 派遣期間:原則として2年間
- (エ) 応募資格:満20歳から満69歳までの日本国籍を有する者
- (オ) 待遇:現地生活費、往復渡航費等は国際協力機構の負担

イ 日系社会青年ボランティア

日系社会青年ボランティアは、中南米の日系人社会の一層の発展を図るため、独立行政法人国際協力機構(JICA)が満20歳から満69歳までの青年をボランティアとして派遣する事業である。昭和60年発足以来、本県からは、世界3ヶ国で10人の派遣実績がある。(令和元年7月1日現在)

ウ 三沢基地内大学県民就学推進事業

三沢基地内大学県民就学推進事業は、青森県の発展に貢献する国際性に富む有為な人材を育成するため、県内に居ながら三沢米軍基地内にあるアメリカの大学等（メリーランド大学、トロイ大学院）への就学を希望する県民を対象としており、これまでの就学者数の累計は、平成31年4月1日現在で539人となっている。

(4) 市町村の青少年国際交流状況

青少年の国際交流事業は、各市町村においても積極的に取り組む姿勢があり、継続的あるいは記念事業としての海外派遣事業や、相互交流を推進する海外青少年の受入事業を積極的に推進している。

平成30年度の実施状況は**第2-6-7表**のとおりである。

第2-6-6表 本県出身青年海外協力隊年度別派遣数（令和元年7月1日現在）

（単位：人）

	派遣国	～H13年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
アジア地域	インドネシア共和国	6			1				1	1	1				1				1		12	
	マレーシア	17					1														18	
	フィリピン共和国	19						1			1										21	
	タイ王国	5			1	1														1	8	
	カンボジア王国	3					1		1		1										6	
	ラオス人民民主共和国	3							1						1						5	
	東ティモール民主共和国										1					1				1	3	
	ベトナム社会主義共和国	1	1													1	1				4	
	中華人民共和国	4	1			1															1	6
	モンゴル国											2					1					3
	ブータン王国		1																			1
	バングラディシュ人民共和国	11			1	1		1						1		1						16
	モルディブ共和国	2																				2
	ネパール連邦民主共和国	9	1						1	2									1	1		15
	パキスタン・イスラム共和国	1	1		1																	3
	スリランカ民主社会主義共和国	7						1		1		1				1		1				12
	キルギス共和国					1		0					1			1						3
ウズベキスタン共和国	1										2										3	
小計		89	2	3	3	5	2	3	4	4	8	2		1	5	3	1	2	3	1	141	
中近東地域	ヨルダン・ハシミテ王国										2				1					2	5	
	シリア・アラブ共和国	4						1		1											6	
	イエメン共和国					1	1														2	
	エジプト・アラブ共和国								1									1			2	
	モロッコ王国	9											1								10	
	チュニジア共和国	2																				2
小計		15			1	1	1	1	1	1	2		1		1		1		2		27	
アフリカ地域	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2																		1	3	
	エチオピア連邦民主共和国	3							2							1	1				7	
	ガーナ共和国	9				1				1	1						2				14	
	ケニア共和国	20													1						21	
	リベリア共和国	2																			2	
	マラウイ共和国	14			1	1	2					1									19	
	南アフリカ共和国		1																		1	
	ウガンダ共和国								1	1	1									1	4	
	タンザニア連合共和国	14	1		1				2												18	
	ザンビア共和国	8						1		1											10	
	ジンバブエ共和国	4				1												1			6	
	ベナン共和国										1		1		1						3	
	ブルキナファソ	1	1			2	2		1	1	1							1	1		10	
	カメルーン共和国									1	1		1				1				3	
	コートジボワール共和国	1																			1	
	マダガスカル共和国		1								1										2	
	モザンビーク共和国					1															1	2
	ニジェール共和国	3	1		1																5	
	ルワンダ共和国						1							1	1	1					4	
	ガボン共和国													1							1	2
セネガル共和国	7	1	1	1	1			2	2	1									1	17		
ジブチ共和国																					1	
小計		88	4	3	1	7	6	3	8	5	6	2	4	2	3	2	4	1	6		155	
中南米地域	コスタリカ共和国	4					1														5	
	ドミニカ国										1										1	
	ドミニカ共和国	2				1					0	0	1				1				5	
	エルサルバドル共和国	2			1																3	
	グアテマラ共和国	6				1	1														8	
	ホンジュラス共和国	5	1								1										7	
	ジャマイカ	2	1														1			1	5	
	メキシコ合衆国	2	1																		3	
	パナマ共和国	3	1		1																5	
	ボリビア他民族国	6			1				2	1										1	11	
	チリ共和国	1	1	1								1									4	
	コロンビア共和国	1																			1	
	エクアドル共和国	2						1							1					1	5	
	パラグアイ共和国	8	1		1						1					2				1	14	
ペネズエラ・ボリバル共和国												1								1		
ペルー共和国	3						1													4		
小計		47	3	3	3	3	3	2	2	1	3	1	1	2	2	1	1	3	1		82	
オセアニア地域	フィジー共和国	3									1										4	
	マーシャル諸島共和国									1											1	
	ミクロネシア連邦	1			1																2	
	バブアニューギニア独立国	5			1			1		1											8	
	ソロモン諸島	6									1								1	1	9	
	トンガ王国	4									1		1								6	
	バヌアツ共和国	3			1						1										5	
	サモア独立国	8																			8	
小計		31			3			2		3	2	1	1						1	1	45	
欧州	ハンガリー		1																		1	
	ルーマニア		1																		1	
	小計		2																		2	
合計		270	11	9	10	16	12	11	15	14	21	6	7	5	11	6	7	7	13	1	452	

資料：独立行政法人国際協力機構

第2-6-7表 平成30年度各市町村における青少年国際交流の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
青森市	経済部交流推進課	国際交流員設置事業 (市長局配置分)	通年	複数国	地域の国際化推進のため、国際交流員を配置し、通訳・翻訳、国際交流事業の企画立案、民間団体等が主催する国際交流事業への支援などを行った。	招致2名
青森市	経済部交流推進課	国際交流員の派遣(異文化理解講座・通訳など外部依頼)	通年	アイルランド・韓国	市民の国際理解の推進のため、庁内各課及び民間団体等からの依頼を受けて、国際交流員を講師や通訳として派遣した。	合計26回 (韓国13、アイルランド13)
青森市	経済部交流推進課	国際交流員による異文化理解講座(自主事業)	H30.4～H31.3	アイルランド・韓国	市民の国際理解のため、国際交流員を講師として、出身国の文化を紹介する講座や、料理教室などを実施した。	合計14回 (韓国7、アイルランド7)
青森市	経済部交流推進課	平澤市留学生受入事業	通年	韓国 (平澤市)	韓国及び友好交流都市である平澤市との相互理解及び友好交流関係の進展に寄与する人材を育成するため、同市から青森公立大学へ留学生を受け入れた。	留学生2名
青森市	経済部交流推進課	「八甲田丸港フェスタ」での国際交流PRブースの設置	H30.7	複数国(全友好交流都市)	市民の国際理解の推進、国際交流の意識醸成のため、「八甲田丸港フェスタ」にブースを出展し、友好都市との交流の様子を紹介するパネルを展示した。	—
青森市	経済部交流推進課	「2018しんまちふれあい広場」での国際交流PRブースの設置	H30.8	複数国(全友好交流都市)	市民の国際理解の推進、国際交流の意識醸成のため、「2018しんまちふれあい広場」にブースを出展し、友好都市との交流の様子を紹介するパネルを展示した。	—
青森市	経済部交流推進課	友好交流都市公式訪問団派遣事業	H30.7	ハンガリー(ケチケメート市)	友好交流都市であるケチケメート市との継続的な交流の推進を図るため、ケチケメート市で開催された「ヨーロッパ未来国際子ども会議「チベロ祭」」に本市の小・中学生9名を派遣するとともに、市長等が公式訪問した。	派遣15名
青森市	経済部交流推進課	訪日外国人向け体験型滞在プログラム企画・開発事業	H31.1～ H31.3	複数国	訪日外国人旅行者向けに既存体験コンテンツのブラッシュアップを行い、体験コンテンツの販路拡大に向けた情報発信を行った。	有識者招致2名
青森市	経済部交流推進課	青函圏におけるアジアへ向けた情報発信番組制作	H30.11～ H30.12	中国・台湾をはじめとしたアジア圏	青函圏周遊ルートの魅力を紹介し誘客につなげることを目的に、アジア圏で放送されるテレビ番組を制作した。	
青森市	経済部交流推進課	青函圏における韓国及び中国メディア・ブロガー等招請事業	H30.10～ H31.1	韓国、中国	青森の認知度を高め青函圏への誘客につなげることを目的に、韓国及び中国のブロガーを招請した。	招致6名
青森市	経済部交流推進課	青函圏における台湾旅行会社等招請事業	H30.12	台湾	青森の認知度を高め青函圏への誘客につなげることを目的に、台湾の旅行会社等を招請した。	招致5名
青森市	経済部交流推進課	あおり街てく (クルーズ客船特別企画)	外国クルーズ客船寄港時に随時開催(※開催しない場合有り)	複数国	外国クルーズ客船が寄港した際に、乗客向けの特別コースを設け、あおり街てくガイドが青森駅周辺を案内した。	平成30年度 参加者169名
青森市	経済部交流推進課	多言語対応観光アプリ運営	通年	英語圏、中国語圏、韓国語圏	スマートフォンなどの携帯端末を使って最新の観光情報や交通情報等を入力できる多言語対応観光アプリを運営した。	—
青森市	経済部交流推進課	ジャパンデー2018	H30.4.14	アメリカ	米軍三沢基地内において開催された「ジャパンデー2018」に参加し、観光PRブースの設置やステージ出演による情報発信を行った。	派遣6名
青森市	経済部交流推進課	青森市外国語版観光パンフレット制作	H30.10	英語圏、中国語圏、韓国語圏	外国人観光客誘客及び受入対応への活用を目的として毎年度製作している観光パンフレットの平成30年度版を製作した。	配布部数約9,000部(H30.10～ H31.3)
青森市	経済部交流推進課	中国誘客プロモーション	H30.11月上旬・11月下旬	中国	本市の誘客促進を図るため、中国上海市及び武漢市において観光PRイベントを実施したほか、旅行エージェントを訪問し、セールスを実施した。	派遣2名
青森市	経済部交流推進課	台湾誘客プロモーション	H30.6、12、H31.3	台湾	本市の誘客促進を図るため、台湾台北市等において観光PRイベントを実施したほか、旅行エージェントを訪問し、セールスを実施した。	派遣2名
青森市	経済部交流推進課	イギリスクルーズ船社トップセールス	H30.7	イギリス	青森港へのクルーズ客船の更なる寄港数の増加を図るため、イギリスロンドン市等の船社に対し、青森港のハード・ソフトをPRするトップセールスを実施した。	派遣4名
青森市	経済部交流推進課	南欧州クルーズ船社ポートセールス	H30.12	フランス、モナコ、イタリア、スイス	青森港へのクルーズ客船の更なる寄港数の増加を図るため、フランスパリ市等の船社に対し、青森港のハード・ソフトをPRするポートセールスを実施した。	派遣1名
青森市	経済部交流推進課	上海クルーズ船社トップセールス	H31.1	中国	青森港へのクルーズ客船の更なる寄港数の増加を図るため、中国上海市の船社に対し、青森港のハード・ソフトをPRするトップセールスを実施した。	派遣5名
青森市	経済部交流推進課	韓国エージェントセールス	H30.7	韓国	本市の誘客促進を図るため、韓国ソウル市の旅行エージェントを訪問し、セールスを実施した。	派遣2名
青森市	経済部交流推進課	冬季観光プロモーション事業	通年	台湾	スキー等の冬季観光コンテンツをPRするため、エージェントセールス、台湾で開催された旅行博への参加、エージェント及びブロガーの招請を実施したほか、雪に親しみ環境整備のためモヤヒルズでのスノーアクティビティ環境整備やアフタースキーコンテンツモニター事業を実施した。	—
青森市	経済部交流推進課	台湾テレビ番組プロモーション事業	H30.4～ H30.10	台湾	台湾における人気旅行番組を誘致し、青森県内の夏の祭りや食などをPRした。	
青森市	経済部交流推進課	中国テレビ番組プロモーション事業	H30.10～ H30.11	中国	中国における人気旅行番組を誘致し、青森県内の夏の祭りや観光地をPRした。	放送2回
青森市	経済部交流推進課	青森市旅行商品造成事業助成金	(申請期限) H30.4.1～ H31.2.28	複数国	青森空港発着のチャーター便就航の増大及び青森空港発着の大韓民国(川)国際空港からの定期便の利用促進並びに海外から本市への誘客促進を図るため、当該チャーター便又は定期便を利用する海外からの旅行商品の造成及び募集に関する業務を行う事業者に対し助成金を交付した。	交付確定6件

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
青森市	経済部交流推進課	ノーブル・カレドニア社招聘	H30.9	イギリス	青森港への寄港増を図るため、青森港への寄港を予定しているノーブル・カレドニア社を招聘し、青森市や周辺地域の魅力を紹介した。	招致2名
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「セレブリティ・ミレニアム」歓迎催事	H30.4	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,000人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」歓迎催事	H30.4	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,700人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「セレブリティ・ミレニアム」歓迎催事	H30.4	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,000人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「MSCスプレンドイダ」歓迎催事	H30.4	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約3,200人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ノルウェー・ジュエル」歓迎催事	H30.5	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,300人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「シルバー・シャドウ」歓迎催事	H30.5	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約380人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「シーボーン・ソジャー」歓迎催事	H30.5	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約450人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ロストラル」歓迎催事	H30.5	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約260人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」歓迎催事	H30.8	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,700人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「コスタ・ネオロマンチカ」歓迎催事	H30.8	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約1,500人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「MSCスプレンドイダ」歓迎催事	H30.8	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約3,200人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」歓迎催事	H30.8	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,700人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」歓迎催事	H30.8	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,700人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「シルバー・シャドウ」歓迎催事	H30.9	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約380人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ブレーメン」歓迎催事	H30.9	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約160人
青森市	経済部交流推進課	クルーズ客船「ノルウェー・ジュエル」歓迎催事	H30.10	複数	外国クルーズ客船が青森港に寄港した際に歓迎催事を実施した。	乗船客約2,300人
青森市	教育委員会指導課	友好交流推進事業	H30.7~8	中国(大連市)	本市指定校を含む児童生徒を大連市に派遣し、大連市指定校の児童生徒と交流を行った。また、大連市指定校の児童生徒を受入し、交流を行った。	派遣17名(うち引率5名) 受入25名(うち引率3名、ガイド1名)
青森市	教育委員会指導課	語学指導等を行う外国青年招致事業	通年	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致し、英語教育の充実を図った。	招致15名
青森市	教育委員会指導課	国際交流員設置事業(教育委員会設置分)	通年	英語圏	地域の国際化推進のため、国際交流員を配置し、通訳・翻訳、国際交流事業の企画立案、民間団体等が主催する国際交流事業への支援などを行った。	招致1名
青森市	教育委員会指導課	友好交流推進事業	H31.2~31.3	ハンガリー(ケチケメート)	交流指定校であるセーチェンヴァーロン小学校(ケチケメート市)に、本市交流指定校の児童・生徒の制作した美術作品(絵画、版画)を送付した。	送付21点
青森市	浪岡教育事務所教育課	青森市中学校生徒海外派遣・受入事業	(受入)H30.7~H30.8 (派遣)H31.1	アメリカ合衆国(メーン州)	本市とアメリカ合衆国メーン州の中学校生徒が相互に派遣・受入を行い、ホームステイや体験活動等による交流を行った。	受入12名(うち引率者3名) 派遣13名(うち引率者3名)
青森市	あおりり産品支援課	「Umai!! Aomori Food Fair 2018」開催	H30.11.7~ H31.1.16	シンガポール	約6億人の東南アジアマーケットの〈ショーケース〉、〈ゲートウェイ〉としての役割を担う国際都市シンガポールの市場をターゲットに販路開拓を図るため、むつ湾沿岸自治体(青森市、むつ市、外ヶ浜町)並びに関係機関で、レストランプロモーションや商談会等を開催した。	派遣4名
青森市	経済部新ビジネス支援課	海外販路開拓支援事業	通年	ベトナム	地場産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、3自治体(八戸市、青森市、おいらせ町)と関係機関が連携し、経済発展が著しいASEAN諸国を対象として、海外展開を取り組む青森県内企業への年間を通じたマッチングや販売促進を行った。	派遣2名 (うち民間1名)
青森市	地域スポーツ課	東京2020事前合宿に関する覚書締結	H30.10.5	タジキスタン共和国	タジキスタン共和国選手団が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における事前合宿を青森市内で実施することについての覚書を交換。同年12月末には同国のホストタウンとして国から登録を受けた。	

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
青森市	教育委員会中央市民センター	市民スクール(中央)『ネイティブに学ぶ!使えるトラベル英会話』	H30.5.11、5.18、5.25 H30.6.29、7.6、7.13	英語圏	市民が、外国の文化及び言語(英語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした英会話講座を開催した。	受講者数154人 全6回
青森市	教育委員会中央市民センター	市民スクール(中央)『青森港のクルーズ客船を英語でお出迎え!ネイティブに学ぶ「話しかけられても困らないための英会話術」』	H30.9.7	英語圏	市民が、外国の文化及び言語(英語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした英会話講座を開催した。	受講者数26人
青森市	教育委員会中央市民センター	市民スクール(中央)『日本人っておもしろい!?ネイティブに学ぶ「外国人から見た日本」』	H30.12.6	英語圏	市民が、外国の文化及び言語(英語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数16人
青森市	教育委員会中央市民センター	市民スクール(戸山)『国際交流 外国人から見た日本』	H31.2.12	韓国	市民が、外国の文化及び言語(韓国語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数11人
青森市	教育委員会中央市民センター	市民スクール(北部)『韓国を知ろう!となりの国、韓国～迷信と文化～』	H30.10.26	韓国	市民が、外国の文化及び言語(韓国語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数11人
青森市	教育委員会中央市民センター	キッズスクール『キッズ国際交流「韓国国際交流員に学ぶ「韓国語で自己紹介ができるようになる」』	H30.7.26	韓国	青少年が、外国の文化及び言語(韓国語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数9人
青森市	教育委員会中央市民センター	中央寿大学『韓国の文化・歴史について』	H30.11.14	韓国	市民が、外国の文化及び言語(韓国語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数41人
青森市	教育委員会中央市民センター	中央女性大学・大学院『簡単な外国語を使ってみよう「英語」』	H30.7.4	英語圏	市民が、外国の文化及び言語(英語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした簡単な英会話講座を開催した。	受講者数47人
青森市	教育委員会中央市民センター	西部寿大学『国際交流ってなに』	H30.10.5	諸外国	市民が、外国の文化及び言語等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、県の国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数23人
青森市	教育委員会中央市民センター	戸山寿大学・大学院『韓国の都市 ソウルとプサンだけじゃない!』	H30.10.3	韓国	市民が、外国の文化及び言語(韓国語)等に触れることにより国際感覚を養う学習機会として、国際交流員を講師とした講座を開催した。	受講者数28人
青森市	教育委員会文化学習活動推進課	グローバル人材育成事業	(第1回体験活動)H30.7 (第2回体験活動)H30.9	英語圏	外国語によるコミュニケーション能力を培うとともに、国際化に対応できるグローバルな人材を育成することを目的として、市内の小中学生がCIR・ALTと英語体験活動を行った。	(第1回体験活動)児童20名、CIR1名、ALT5名 (第2回体験活動)児童18名、CIR1名、ALT4名
青森市	教育委員会文化学習活動推進課	棟方志功賞版画展入賞作品送付	H31.2.2～ H31.2.4	ハンガリー(ケケメート)、チェコ(プラハ)、中国(大連)	日本文化に対する理解促進を図るため、青少年の版画文化への理解と技術向上を目的とした版画コンクールの入賞作品を送付した。	42点
青森市	教育委員会文化学習活動推進課	日露交歓コンサート2018	H30.9.19～ H30.9.20	ロシア	公益社団法人国際音楽交流協会主催するチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院の演奏家を招聘し、「日露交歓コンサート2018」を開催した。	招聘(演奏家)7名 コンサート1,588名 マスタークラス20名
弘前市	①商工政策課 ②りんご課	マレーシア物産展事業	①H31.2.15～ H31.2.28 ②H31.2.22～ H31.3.6	マレーシア	マレーシア「クアラルンプール伊勢丹」2店舗にて、弘前フェア(テストマーケティング)を開催、うち1店舗の最初の週末に合わせて参加事業者及び市職員が渡航し、金土日の3日間売場にてPRをした。 ①伊勢丹LOT10店:14日間 ②伊勢丹KLCC店:14日間	市職員3名 民間6名
弘前市	中央公民館	外国人留学生から直接聞ける「世界のおはなし」	①H30.7.14 ②H31.1.26	①各国 ②各国	弘前大学で初級日本語を学ぶ外国人留学生に勉強の成果を発表する場を提供するとともに、留学生と市民とが交流する場を設けた。	参加者:のべ75名(①22名 ②53名) 発表者:のべ27名(①13名 ②14名)
弘前市	中央公民館	国際理解講座	H30.9.24	・アメリカ ・ヨーロッパ	弘前市民を対象に、国際交流への理解を深めるため、研究者を講師に迎え、「洋楽事始in青森」と題し、明治期に西洋音楽が青森県に伝わり普及していく過程を学ぶ機会を提供した。	参加者:4名
弘前市	中央公民館	外国人のためのひろさき楽習	H30.10.27	各国	弘前在住の外国人を対象に、弘前で生活をより充実させることを目的に、日本の文化に親しんでもらう場を設けた。ミニコンサート「琴のしらべと日本の歌」を実施した。	参加者:4名 (うち外国人2名)
弘前市	中央公民館	弘前大学との連携事業(船沢公民館)世代間国際交流事業	H30.8.4	各国	留学生と地域住民との交流会(グランドゴルフ大会、流しそうめん、各国の紹介、ゲーム)を通して、異国間・世代間の交流を深め、国際感覚の視野を広げた。	参加者:150名(留学生含む)
弘前市	都市計画課	EU国際都市間プロジェクト	H30.4.24～ H30.4.27	ドノスタシア・サンセバスチャン	EU国際都市間プロジェクトに基づくスタディツアーにより交流を行った。	受入 5名
弘前市	都市計画課	EU国際都市間プロジェクト	H30.10.1～ H30.10.3	ドノスタシア・サンセバスチャン	EU国際都市間プロジェクトに基づくスタディツアーにより交流を行った。	派遣 3名
弘前市	文化スポーツ課オリンピック・パラリンピック推進室	台湾女子ソフトボールチーム強化合宿事業	H30.6.25～ H30.7.1	台湾	弘前市が台湾のホストタウンとして登録を受けていることに関連し、台湾女子ソフトボールU19チームの強化合宿を受入れ。合宿中には、実業団チームや地元高校生との混合チームによる交流試合のほか、復興ありがとうホストタウンとして登録を受けている岩手県野田村・台湾・弘前市の三者による交流会を実施した。	来訪者29名 (コーチ・スタッフ8名、選手20名、通訳1名)
弘前市	文化スポーツ課オリンピック・パラリンピック推進室	「第16回世界女子ソフトボール選手権大会」チャイニーズ・タイペイ応援ツアー	H30.8.3～ H30.8.5	台湾	台湾代表チームが千葉県で開催される世界選手権に出場するため、ホストタウンとして市民を募り、応援バスツアーを実施した。	参加者15名 (スタッフ6名、市民9名)

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
弘前市	文化スポーツ課 オリンピック・パラ リンピック推進室	ブラジル視覚障がい者柔道 チーム強化宿泊事業	H30.7.10～ H30.7.25	ブラジル	弘前市がブラジルのホストタウンとして登録を受けたこと に関連し、ブラジル視覚障がい者柔道チームの強化合 宿を受入れ、市内大学柔道部員や日本視覚障がい者 柔道チームとの合同稽古のほか、弘前パラ柔道フォー ラムを開催した。	来訪者13名 (スタッフ2名、選手8名、通訳 3名)
弘前市	文化スポーツ課 文化振興係	伝統舞踊「八家将」団体との 文化交流	H30.8.1～H30.8.3	台湾	台湾台南市から「八家将」団体が弘前市を訪れ、台湾 の伝統舞踊「八家将」と弘前市の伝統的な祭である「弘 前ねぶたまつり」を通じた文化交流を実施した。	来訪者15名(伝統舞踊団体 12名、台南市政府3名)
弘前市	国際広域観光課	東アジア誘客プロモーション 事業	通年	中国、韓国、台湾	商談会への出席および現地でのプロモーションを実施。	17名参加
弘前市	国際広域観光課	東南アジア等新規市場開拓 事業	通年	東南アジア	商談会への出席および現地でのプロモーションを実施。	8名参加
弘前市	国際広域観光課	クルーズ船活用誘客促進事 業	通年	各国	青森へ寄港するクルーズ船の乗客に対しおもてなしを 実施。	約769名受入
弘前市	国際広域観光課	旅行エージェント招へい活用 事業	通年	各国	各種ファミツアーを受け入れた。	30件124名受入
弘前市	国際広域観光課	青函圏における台湾旅行会 社等招請業務	H30.12.13～ H31.2.28	台湾	日本国内を移動して魅力を体感する意欲が高い台湾の 旅行会社やメディアを招請し、実際にツアーを体験して いただくことで、情報を発信し、商品造成を促進。	4社5名参加
弘前市	国際広域観光課	青函圏におけるアジアへ向け た情報発信番組制作事業	H30.7.24～ H31.2.28	中国、台湾	東アジアへ向けた情報発信番組の制作により、青函圏 の魅力を発信。	2番組制作 北海道、青森、台湾、上海で 放送
弘前市	国際広域観光課	パンフレット作成事業	随時	各国	外国人観光客を対象としたパンフレットの作成・配布を 行った。	作成部数: 繁体30,000部 簡体20,000部 英語10,000部 タイ語10,000部
八戸市	商工課	ポートセールスの展開	H30.7.2～7	中華民国(台湾)台北 市・高雄市	・八戸港をPRする「八戸港レセプション」の開催 ・船社等関係機関の現地事務所訪問によるポートセ ールス ・港湾・市場の視察等	派遣15名(うち事務局長3名)
八戸市	商工課	海外販路拡大事業	①H31.2 ②H30.11.23～25 H31.1.17～20	①米国(ニューヨーク 市及び近郊) ②ベトナム、タイ	①地元企業による営業活動及びデモンストレーション販 売を実施 ②レストランプロモーション及びデモンストレーション販売 を実施	①派遣12名(うち職員3名) ②派遣7名(うち職員3名)
八戸市	商工課	海外経済交流事業	通年	米国、中国、シンガ ポール	海外経済協力員の委嘱(中国・天津市、上海市、香港、 シンガポール、米国)	経済協力員5名(ほか1名調 整中)
八戸市	商工課	海外経済交流事業	通年	米国(タコマ)	青森県八戸港と米国タコマ港との経済貿易協定 ・5年後毎の更新 ・今回は、2020年6月29日までの更新のため、タコマ港 関係者との調整等を進める。 ※2019年2月26日、現地へ渡航し、タコマ関係者との協 議を実施。	協議実施
八戸市	観光課	観光案内等の多言語化	通年	英語・繁体字・簡体 字・韓国語	八戸市観光情報サイトについては左記4ヶ国語で公開 済み。動向に注意しながら、必要に応じて観光情報の 多言語化を進める。平成30年度は音声ガイド付のレンタ サイクル事業及び八戸三社大祭アプリの多言語化を 行った。また、ユートリー1階の「八戸三社大祭魅力発 信コーナー」を開設し、展示説明文を多言語で表記し た。	①音声ガイド付レンタサイ クル事業(英語・中国語・韓国 語) ②八戸三社大祭アプリ(英 語・中国語(繁体字)・中国語 (簡体字)) ③「八戸三社大祭魅力発信 コーナー」(ユートリー1階)展 示説明文(英語・中国語(繁 体字)・中国語(簡体字)・韓 国語)
八戸市	観光課	多言語版八戸広域観光ガイ ドブックの作成	H31.3.4～H31.3.29	英語・繁体字・簡体 字・韓国語	八戸市エリアを訪れた外国人観光客向けに、多言語版 の八戸広域観光ガイドブックを作成した。	英語 10,000部 中国語(繁体字) 10,000部 中国語(簡体字) 10,000部 韓国語 10,000部
八戸市	観光課	青函圏における韓国及び中 国プロガー等招請事業	H30.10～H31.1	韓国、中国	青森市、弘前市、八戸市、函館市の青函圏4市の連携 事業。韓国及び中国のプロガーを招請し、各市の観光 地を巡りSNS等で情報発信してもらうことにより誘客を図 るもの。	①韓国メディア・プロガー等招 請事業 日時:H30年10月31日～11 月4日 内容:韓国のプロガー3名を 招請 ②中国メディア・プロガー等招 請事業 日時:H31年1月14日～20日 内容:中国のメディア・プロ ガー3名
八戸市	観光課	青函圏におけるアジアへ向け た情報発信番組制作事業		アジア圏	青森市、弘前市、八戸市、函館市の青函圏4市の連携 事業。アジア圏での認知度、イメージ向上を図るため、 観光情報番組を制作。	中国全土で視聴されている 海外向けテレビ番組「LOVE HOKKAI DO」の制作・放映。

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
八戸市	観光課	青函圏における台湾旅行会社等招請事業	H30.12月	台湾	青森市、弘前市、八戸市、函館市の青函圏4市の連携事業。青函圏の広域観光ルートを体験してもらうことで認知度を高め、誘客につなげることを目的として、台湾の旅行会社等を招請。	日時：H30年12月17日～21日 内容：台湾の旅行会社・メディア5名を招請し、「JR Tohoku-South Hokkaido Rail Pass」を活用して青函圏を巡る4泊5日の視察旅行を実施。
八戸市	観光課	台湾バラエティ番組誘致・番組制作事業		台湾	青森県、青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、十和田市の連携事業。台湾の人気バラエティ番組の青森県ロケを誘致し、認知度向上、誘客増を図るもの。	台湾の人気芸能人「陳美鳳(チン・メイフォン)氏」の出演番組「美鳳有約」を活用し、県内の夏祭りや観光情報を発信
八戸市	教育指導課	青少年海外派遣事業(派遣)	H30.5.24～6.1	中国	国際協調の精神を育てるとともに、青少年の健全育成を図るため、中学生を海外に派遣する。	派遣29名 (うち引率者5名)
八戸市	教育指導課	青少年海外派遣事業(受入)	H30.5.13～5.17	中国	友好交流団の青少年によるホームステイや交歓会等を通して、両市の友好交流及び当市青少年の国際理解の醸成を図る。	受入20名 (うち引率者6名)
八戸市	教育指導課	国際理解教育・英語教育推進事業	通年	英語圏	外国語指導助手による小・中学生等への国際理解教育・英語教育	招致17名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	ジャパン・デー・イン・八戸	H30.6.10		在住外国人を対象に開催し、漁業と深い係わりを持ってきた種差地区の生業と観光地を見学し交流を図る。	参加39名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	外国人のための防災教室	H30.6.19		在住外国人を対象に開催し、一般市民と同じような災害対応ができることを目指す。	参加70名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	第8回国際交流フェスタinはちのへ	H30.9.9	各国	地域住民を対象とした大規模な交流イベントを実施し、異文化理解を促進する。	来場約1000名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	ハロウィンツアー	H30.10.28	アメリカ・ヨーロッパ	主に西欧文化圏の伝統行事ハロウィンを紹介することで、異文化に接する機会を提供する。	参加259名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	異文化理解イベント	H30.12.16	マレーシア	ハラールフードを使った料理作りを通じて、マレーシア文化に対する市民の理解を深める。	参加14名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	高校生向け英会話講座	H30.7.23 H30.8.8～10 (全4回)	英語圏	国際交流員を講師に、高校生を対象に英会話講座を開講。	受講9名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	初級外国語講座(英語)	H30.5.24～6.26(全10回)	英語圏	地域住民を対象に、初心者にも分かりやすい会話表現に重点を置いた内容の講座を開講する。	受講20名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	トラベル中国語講座	H30.6.28～7.12	中国	地域住民を対象に、旅行先で使える中国語講座を開講。	受講10名
八戸市	八戸国際交流協会(事務局:市民連携推進課)	日本語講座	通年		在住外国人を対象に基礎的な日本語講座を開講する。	受講144名
五所川原市	観光物産課	台北市大葉高島屋への立役武多展示業務	H30.5.13～5.17	台湾	台北市大葉高島屋へ立役武多を展示し、展示セレモニー及び商談会において五所川原市及びサイクルルートのPRを行った。	派遣4名
五所川原市	観光物産課	美風有約撮影・放送による宣伝業務	H30.7.6～10.15	台湾	青森県、青森市、弘前市、八戸市、五所川原市および十和田市が連携し、台湾テレビ局にて青森県観光情報発信番組を制作・放送し、主に夏祭りの観光情報を発信することで青森県の知名度向上を図った。	視聴者数 1,105,000人
五所川原市	観光物産課	津軽半島地域サイクルルートパンフレット制作業務	H30.7.18～11.30	英語圏、中国語圏(繁体字)、韓国	津軽半島地域サイクルルートをPR・紹介するパンフレット及び携行用パンフレットを英語、中国語(繁体字)、韓国語の3言語で制作した。	制作部数 英語：600部 中国語(繁体字)：600部 韓国語：1,000部
五所川原市	観光物産課	済州国際サイクリングフェスティバル参加及び津軽半島サイクリングルートのPR	H30.9.7～9.9	韓国	済州国際サイクリングフェスティバルに参加し韓国国内のサイクリストとの交流を図り、サイクルルートのPRを行った。	派遣3名 うち民間1名
五所川原市	観光物産課	「GOOD LUCK TRIP 青森・函館」広告掲載業務	H30.10.12～10.31	英語圏、中国語圏(繁体字)、韓国	訪日外国人向けフリーマガジン「GOOD LUCK TRIP 青森・函館」にサイクルルートの広告を掲載した。	配布部数 海外：20,000部 国内：30,000部
五所川原市	観光物産課	五所川原立役武多海外情報発信事業	H30.10.16～10.26	フランス	日仏友好百六十年に合わせ、フランス・パリ市で行われた「ジャポニスム2018」へ中型立役武多を出陣させ、日本文化、そして当地域及び青森県を広くPRした。	派遣32名 うち民間26名
五所川原市	学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	H30.4～H31.3	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致し、市内小・中学校全校に派遣し、英語教育の充実を図った。	招致3人
五所川原市	学校教育課	ALT交流活動	H30.12.14		適応指導教室通室生と外国語指導助手との交流活動を実施した。	参加者7名
五所川原市	社会教育課	旧津島家住宅多言語化業務	H30.10.15～H31.2.25	英語圏、中国語圏(台湾含む)、韓国	旧津島家住宅(太宰治記念館「斜陽館」)に、外国人観光客を対象とした多言語解説看板及びスマートフォンを活用した多言語音声ガイドを準備。	看板及び音声ガイド各15カ所
十和田市	まちづくり支援課 市民活動支援係	多言語生活情報の発信	H30.4～H31.3		多言語による生活情報を市ホームページにて発信した。	

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
十和田市	観光推進課 観光企画係	観光パンフレット作成事業	H30.6.29	英語圏、中国語圏(繁体字、簡体字)	外国人観光客を対象とした観光パンフレットを作成(増刷)した。	英語版 15,000部 繁体字 15,000部 簡体字 9,000部
十和田市	観光推進課 観光企画係	英語版観光マップ作成事業	H31.3.25	英語圏	外国人観光客を対象とした観光マップ(十和田湖パワースポット紹介マップ)を作成(増刷)した。	英語版 5,000部
十和田市	指導課	語学指導等を行う外国青年招致事業	H30.8～ R1.8	アメリカ イギリス	外国語指導助手として外国青年を招致し、小・中学校における外国語教育の充実を図った。	招致アメリカ1名、イギリス2名
十和田市	指導課	国際教育支援事業	H30.4～ H31.2	アメリカ 韓国	異文化理解学習 小学校で行われる国際理解教育及びクラブ活動のために講師を派遣し、異文化を理解する一助とした。	EST(地域に住む外国人)2名
十和田市	指導課	国際教育支援事業	H30.8.19 H30.12.8	カナダ・オーストラリア・アメリカ・イギリス	イングリッシュ・デイ in Towada 市立小・中学校の児童生徒を対象に、一日の生活のほとんどを英語で行う「英語漬け体験」を年2回ALTと協力して実施した。	ALT8名
十和田市	とわだ産品販売戦略課 販売戦略係	十和田市グリーンツーリズム推進事業	H30.4.1～ H31.3.29	台湾、アフリカ、ミャンマー、韓国	修学旅行等での民泊の受入や農業体験の提供を行った。	延べ体験者数 82名
三沢市	観光物産課	ジャパンデー	H30.4.14	米軍三沢基地内	基地内にいる米軍人、家族、軍属関係者に対して、日本文化紹介を通じて日米間の人的・文化的交流を促進するとともに、更なる相互理解を図る。	来場者約3,000名
三沢市	観光物産課	アメリカンデー	H30.6.3		アメリカの文化・スポーツ、また米軍基地内の部分的見学ツアーを通じて日米交流の推進と地域活性化を図る。	来場者約80,000名
三沢市	学校教育課	三沢市中学生イングリッシュキャンプ	H30.8.1～ 8.3		国際社会で活躍できる人材育成事業として、三沢市の地域特性を活かし、英語教育の充実とコミュニケーション能力向上を目的に実施。	参加者32名
三沢市	国際交流課	ウェナッチバレーカレッジ英語研修派遣	H30.8.6～ 8.17	アメリカ ワシントン州 (ウェナッチバレー)	三沢市とウェナッチバレーとの姉妹都市交流を基盤とし、国際感覚の醸成と語学に対する向上心の涵養を図り、次代を担うグローバル人材の育成及び将来にわたる姉妹都市関係のさらなる発展を図るため、ウェナッチバレーカレッジでの英語研修プログラムに三沢市の高校生を派遣。	派遣16名 (高校生14名、引率2名)
三沢市	観光物産課	小川原湖湖水まつり	H30.7.22		小川原湖畔周辺を会場に、ダンス、キャラクターショー、カヤック体験等各イベントを実施。	来場者約20,000名
三沢市	国際交流課	姉妹都市交流事業	H30.8.21～8.26 H30.10.1～10.10	アメリカ ワシントン州 (ウェナッチバレー)	親善使節団(一般公募の中学生及び大人)の相互訪問を通じ、各都市間の相互理解と良好な関係の継続を図る。	8月受入15名 10月派遣19名 (中学生12名、大人7名)、
三沢市	観光物産課	三沢まつり	H30.8.23～ 8.26		参加山車組において、米国人の参加を受け入れているところが多く、日米の文化交流として寄与。	来場者約136,500名
三沢市	観光物産課	三沢国際サマーフェスティバル	H30.8.25		三沢まつりのみこしパレードでは、担ぎ手として多数の米国人が参加。国際交流を図るとともに、市の文化と産業の振興に寄与。	参加者約500名
三沢市	観光物産課	MISAWA BBQ ジャンボリー	H30.10.7		三沢のBBQ文化を実践してもらいながら広く紹介するとともに、参加型イベント等を開催。	来場者約5,000名
三沢市	国際交流課	あおもりグローバルアカデミー	H30.11.17-11.18 H30.12.1-12.2 H30.12.15-12.16		国内外のグローバル化の流れが急速に進展する中、それに対応し、世界的な視野を持ってチャレンジしていく若い人材の育成を目的として青森県と共同開催。	受講者23名中22名修了
三沢市	産業政策課	ハロウィンフェスタ IN MISAWA	H30.10.20		様々なコスチュームに身を包んだ日米の参加者が商店街を練り歩き、相互交流を楽しみながら、併せて中心商店街の活性化に寄与。	参加者186組 608名 来場者12,902名
三沢市	観光物産課	わかさぎ釣りパンフレット作成事業	H30.12.27～ H31.1.18	中国(繁体、簡体) 米、韓国	外国人観光客を対象としたわかさぎ釣りパンフレット及び手引書の作成・配布	パンフレット 1,000部 4種 手引書 300部 4種
三沢市	産業政策課	フレンドシップツアー	通年(月1回) ※9月除く		米軍バスによる基地区域内施設見学ツアーを実施。(約4時間)	毎月定員60名 年間参加者435名
三沢市	国際交流課	異文化理解教育講座	通年		三沢に赴任した米軍人とその家族に対して日本の文化及び風俗習慣並びに市内公共施設紹介を通じて地域及び日本に対する理解を深める。	参加者1,500名程度
三沢市	国際交流課	語学講座	通年(1～3期)		各種語学講座を実施。 (英会話、英文法、日本語等)	年137回 受講者延べ747名
三沢市	学校教育課	日米交流推進事業	H30.4.1～ H31.3.31	基地内小学校	市内の全小学校を対象として、日米の国際理解教育による異文化理解と英語による交流の充実を図る。	年8回ソラーズ小学校児童と交流
三沢市	学校教育課	外国青年招致事業	H30.4.1～ H31.3.31	アメリカ ワシントン州	外国語指導助手として外国青年を招致し、市内小学校及び中学校における英語教育の充実を図る。	招致 2名、年間計239回派遣
三沢市	学校教育課	国際理解教育事業	H30.4.1～ H31.3.31	パキスタン、タイ、グアム	各小学校における国際理解教育へ外国人講師を派遣し、異文化理解を通して、自国文化の理解と愛国心の育成を図る。	3名、年間37回小学校各校へ派遣
三沢市	学校教育課	英語教育推進事業	H30.4.1～ H31.3.31	アメリカ	市内全小学校1～6学年全クラスへの英語指導助手としてALTを派遣し、英語教育の充実を図る。	10名、年間585回派遣
むつ市	企画調整課	国際交流推進事業	通年	アメリカ合衆国	市内在住の米国籍所有者で、国際交流業務に必要な知識、経験、技能を有する国際交流推進員として委嘱し、国際交流事業の展開を図った。	委嘱2名 (うちJET1名)

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
むつ市	教育委員会学校教育課	高雄市立陽明国民中学校との友好交流事業	H30.6.1～ H30.6.2	中華民国 台湾(高雄市)	台湾から中学生と教職員等を受け入れ学校訪問を通して友好交流を図った。	受入20名 (うち引率9名)
むつ市	教育委員会学校教育課	むつ市ジュニア大使派遣事業	H31.1.3～ H31.1.10	アメリカ合衆国 (ポートエンジェルズ市)	中学生を姉妹都市に派遣し、まちづくりに関する意見交流、学校訪問、ホームステイ等により、現地の中学生との交流を図った。	派遣14名 (うち引率4名)
むつ市	教育委員会学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	通年	英語圏	外国語指導助手(ALT)として外国青年を招致し、英語教育の充実及び国際交流事務の円滑化を図っている。	招致4名
つがる市	総務部企画調整課	つがる市姉妹都市国際交流事業(国内事業)	H30.7.26～ H30.8.6	アメリカ (メーン州バス市)	バス市から来訪する訪問団を受入れ、ホームステイをしながら、各種交流事業を実施し、友好・親善を深めるとともに、市民の国際感覚の育成を図った。	受入10名
つがる市	総務部企画調整課	つがる市姉妹都市国際交流事業(国外事業)	H30.8.9～ H30.8.19	アメリカ (メーン州バス市)	バス市に訪問団を派遣し、ホームステイをしながら、各種交流事業を実施し、友好・親善を深めるとともに、参加者の国際感覚の育成を図った。	派遣15名 (うち引率3名)
つがる市	教育委員会指導課	語学指導等を行う外国青年招致事業(ALT)	H30.4～ H31.3	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致し、小・中学校における外国語教育の充実を図った。	招致3名
つがる市	総務部企画調整課	語学指導等を行う外国青年招致事業(CIR)	H30.4～ H31.3	アメリカ	国際交流員として外国青年を招致し、地域国際交流の促進及び英語教育の充実を図った。	招致1名
つがる市	総務部企画調整課	国際ふれあい事業	H30.5～H30.6、 H30.10～H30.12	アメリカ	国際交流員が保育所や幼稚園を訪問し、園児にゲームや工作等を通して外国文化に親しみ、国際理解を深める機会を提供した。	参加者延べ500名
つがる市	総務部企画調整課(実施主体:つがる市姉妹都市協会)	国際交流フェア	H30.10.28	アメリカ等	姉妹都市である米国メーン州バス市、北海道白老町及び千葉県柏市との交流活動を紹介し、広く市民の理解促進を図った。また県内在住ALT、CIRによる世界各国の料理の振る舞いや、外国文化を紹介するブースを設けるなど異文化に触れる機会を提供した。	参加者約1,000名
平川市	教育委員会指導課	平川市国際交流(中学生ホームステイ受入)事業	H30.4.16～ H30.4.23	アメリカ(メーン州)	中学生を受入れ、ホームステイ等により当市の中学生との交流を行った。	受入12名 (うち引率2名)
平川市	教育委員会指導課	平川市国際交流(中学生ホームステイ派遣)事業	H31.1.3～ H31.1.12	アメリカ(メーン州)	中学生を派遣し、ホームステイ等により現地の中学生との交流を行った。	派遣12名 (うち引率2名)
平川市	商工観光課観光係	中国語講座	H30.4～H31.3 (毎週火曜日)	中国語圏	市民・市内企業従事者を対象にした、中国語講座(全38回)	15人程度/回
平川市	商工観光課観光係	台中交流事業	H30.6.14～ H30.6.17	台湾(台中市)	主に台中ランタンフェスティバルに係る打合せのため、市政府等を訪問	訪問者:市職員3名
平川市	商工観光課観光係	台中交流事業	H30.9.4	台湾(台中市)	市内園地にて桃狩り体験	来訪者:僑光科技大学関係者19名
平川市	商工観光課観光係	台中交流事業	H30.10.1	台湾(台中市)	・市内観光施設見学 ・市内園地にてりんご狩り体験	来訪者:台中市温泉協会関係者13名
平川市	商工観光課観光係	台中交流事業	H30.10.4～ H30.10.9	台湾(台中市)	・台中ランタンフェスティバルに係る打合せのため市政府等を訪問 ・台中市温泉祭りへ参加	訪問者:市職員2名
平川市	商工観光課観光係	台中交流事業	H30.11.1～ H30.11.4	台湾(台中市)	・「台中宣言」出席 ・世界花博in台中視察	訪問者:副市長、市職員3名
平川市	商工観光課観光係	台中交流事業	H31.2.9～ H31.2.21	台湾(台中市)	・PRねぶた絵張替え ・台中ランタンフェスティバルへ参加	訪問者:市長、市職員7名
平川市	総務課	平成30年度青森県都市海外研修(青森県市長会事業)	H30.10.22～ H30.10.26	台湾	県内10市の観光誘客プロモーション及び現地自治体職員等との交流による新たな国際交流の推進。	派遣1名
平内町	学校教育課学務係	英語指導助手招致事業	H30.4.1～ H31.3.31	アメリカ合衆国 (英語圏)	平成29年度に英語指導助手として招致した1名に加え、平成30年度は外国人青年をさらに1名招致し、将来を見据えた英語教育の充実を図った。	平成30年度招致人数1名
今別町	教育課	モンゴルフェンシングチーム事前合宿	平成30年8月5日～ 13日まで	モンゴル	モンゴルフェンシング協会と平成27年10月19日に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する基本合意書を締結し、年1回程度強化合宿を実施している。平成30年度は8月5日から13日の期間で当町で合宿を行った。	
蓬田村	教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	H30.8.1～ H31.7.31	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致し、英語教育の充実を図った。	招致1名
蓬田村	教育課	蓬田村中学校海外研修事業	H30.4.1～ H30.9.14	台湾	異文化に対する理解を深め、郷土への愛着や、国際的な視野と感覚を身につけるため、蓬田中学校3年生を対象に海外研修を実施した。	派遣24名 (うち引率4名)
外ヶ浜町	教育委員会学務課	語学指導等を行う外国青年招致事業	通年	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致し、英語教育の充実を図った。	招致2名
藤崎町	教育委員会学務課学務係	語学指導等を行う外国青年招致事業	H30.4～H31.3	カナダ	外国語指導助手として外国青年を招致し、英語教育の充実を図った。	招致1名
藤崎町	教育委員会学務課学務係	町単独ALT雇用事業	H30.4～H31.3	フィリピン	外国語指導助手として外国青年を招致し、英語教育の充実を図った。	雇用1名

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
藤崎町	教育委員会学務課学務係	藤崎町中学生海外派遣事業	H30.8.1～H30.8.6	シンガポール	次代を担う中学生をシンガポールへ派遣し、ホームステイ等を通して異なった文化や伝統を見聞し理解を深め、国際感覚の向上を図った。	参加者16名
藤崎町	教育委員会生涯学習課社会教育係	国際交流風フェスタinふじ崎2018	H30.4.14～H30.4.27	アメリカ、中国、フランス	陸上自衛隊第9音楽隊を招いての演奏会や国際交流員による町内小学校児童との交流会を開催した。	参加者約800名
鶴田町	企画観光課	アースデイ2018	H30.4.21		国際交流員と小・中学生が、アースデイの歴史を学んだり、ごみとして捨てられるものを再利用した工作をしたりしながら、環境保護の意識を高めた。	参加者23名
鶴田町	企画観光課	イングリッシュ・デイ	H30.6.23		小学生が国際交流員や外国語指導助手と一緒に、英語を使うゲームやアクティビティに挑戦して英語に慣れ親しむ。	参加者26名
鶴田町	教育委員会	姉妹都市からの中学・高校生大使受入事業	H30.8.9～H30.8.17	アメリカ(フッドリバー市)	姉妹都市から中学・高校生大使が来町。ホームステイをしながら、日本の文化に親しむ。	受入12名(うち引率2名)
鶴田町	教育委員会	中学生大使派遣事業	H31.3.14～H31.3.23	アメリカ(フッドリバー市)	中学生大使を姉妹都市へ派遣し、ホームステイや学校訪問などをしながら、交流を行う。	派遣24名(うち引率2名)
鶴田町	総務課、教育委員会	語学指導等を行う外国青年招致事業	H30.4～H31.3	英語圏	国際交流員及び外国語指導助手を招致し、英語教育並びに国際交流の推進を図った。	招致2名
鶴田町	総務課	姉妹都市からの外国青年招致事業	H30.4～H31.3	アメリカ(フッドリバー市)	姉妹都市から国際交流員を招致し、英語教育並びに国際交流の推進を図った。	招致1名
鶴田町	教育委員会	町民英会話教室	通年		国際交流員及び外国語指導助手が大人を対象に公民館で英会話教室を開催した。	参加者10名程度
七戸町	生涯学習課	七戸町国際交流推進事業	H30.9.7	台湾(高雄市)	台湾高雄市明華国民中学関係者を町内の秋祭り等に受入、異文化への理解を深めた。	受入人数18名
七戸町	生涯学習課	異文化交流事業イングリッシュキャンプ	H30.9.22～9.24	福島県(ブリティッシュヒルズ)	中学生をブリティッシュヒルズへ派遣し、いわゆる「英語漬け」を体験することで、異文化への理解と学習意欲の向上を図った。	派遣10名(中学生)
六戸町	教育課	JETプログラムによる外国語指導助手活用	通年	アメリカ	外国語指導助手が町内小・中学校を訪問し、外国語活動や外国語教育の充実を図った。	3名
六戸町	教育課	中学生海外派遣事業	H30.4.23～4.30	アメリカ	海外派遣によって、ホームステイ等を実施し、現地の中学生と交流を図った。	4名
六戸町	教育課	スピーチコンテスト指導	H30.7.24、8.2、8.3、8.8、8.10、8.17、8.21、8.22		東部地区中学校英語スピーチコンテストに出場する生徒への指導	年1回
六戸町	教育課	イングリッシュ・サロン	H30.8.20、8.21、H31.1.9、1.10		楽しみながら英語を話す機会を設け、英語への興味関心を高め学習意欲向上を図った。(小・中学生対象)	のべ81名
六戸町	教育課	ハローイングリッシュクラブ	H31.1.16、1.23、1.30、2.6、2.13、2.20、2.27、3.6、3.13、3.20		楽しみながら英語を話す機会を設け、英語への興味関心を高め学習意欲向上を図った。(小学校5年生以上の対象)	のべ200名
東北町	教育委員会商工観光課	台湾台北市中学校交流事業	H30.7.11～14	台湾(台北市)	上北中学校、東北中学校と姉妹校を締結した台湾台北市天母國民中学の生徒ら42名を東北町へ招き、授業体験による交流や農業・漁業の体験活動を通じて、東北町の魅力をPRしながら生徒間の親睦を深めた。	生徒22名関係者20名
東北町	商工観光課	日米交流事業	H31.3.2	三沢米軍基地	在日米軍と周辺地との調和を図るため、米軍三沢基地の米軍人等と東北町民との交流事業「第7回ひな祭りin Tohoku Town」を開催し、工作体験や料理体験を実施した。	参加者56名
六ヶ所村	国際教育研修センター	外国人青年誘致事業	H30.4～H31.3	ドイツ・韓国	通訳・翻訳・語学指導学習指導を行うと共に村民の異文化理解の推進を図った。	ドイツ 1名 韓国 1名
六ヶ所村	国際教育研修センター	日本語講座	H30.4～H31.3	(六ヶ所村)	在住外国人に対し日常会話の日本語教授や生活支援、情報提供等を行った。	122名
六ヶ所村	国際教育研修センター	外国語教室	H30.4～H31.3	(六ヶ所村)	ALT・CIR等を講師に英語・ドイツ語・韓国語・フランス語教室を開催した。	695名
六ヶ所村	国際交流推進委員会	高校生異文化交流事業(派遣)	H30.7.22～7.26	韓国(襄陽郡)	六ヶ所村出身または県立六ヶ所高校に在学している高校生を対象に3泊4日の日程で、韓国の文化体験を行った。	派遣11名(引率3名)
六ヶ所村	国際交流推進委員会	高校生異文化交流事業(受入)	H30.7.31～8.3	韓国(襄陽郡)	3泊4日に日程で襄陽郡高校生と合宿し日本文化体験を交流した。	受入10名(引率2名)
六ヶ所村	国際交流推進委員会	小学生サッカー交流受入事業	H30.9.15～9.16	韓国(襄陽郡)	韓国、襄陽郡の小中学生が訪問し、サッカー交流を実施した。	受入17名(引率3名)
六ヶ所村	国際交流推進委員会	襄陽郡松茸祭り派遣事業	H30.9.28～10.3	韓国(襄陽郡)	襄陽郡との相互訪問事業として、「襄陽郡松茸祭」へ参加。	派遣16名(引率4人)
六ヶ所村	国際交流推進委員会	異文化交流フェア	H30.10.27	日本・ドイツ・韓国・中国・アメリカ・スペイン・イタリア	ハロウィンをテーマに、ミニ料理教室や民族衣装の試着など文化体験と射的やランタン作りなどのアクティビティを実施した。	入場者数250名
六ヶ所村	国際交流推進委員会	異文化理解事業	H30.4～H31.3	(六ヶ所村)	村内在住外国人による自国の文化紹介。各国の民芸品作りや食文化の違いなどに理解を深め親睦を図った。	参加者287名

第2部 子ども・若者育成支援施策の実施状況

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
六ヶ所村	国際交流推進委員会	児童文通交流事業	H30.2.1	ドイツ (ヴァーレン市)	六ヶ所村尾駈小学校の5.6年の児童生徒と、ヴァーレン市の児童生徒の間で手紙交換で交流を図った。	参加者49名
おいらせ町	学務課	中学生海外派遣事業	H30.4.23～H30.4.30	アメリカ合衆国・メーン州	中学生を姉妹都市に派遣し、ホームステイ等を行うことで、現地の中学生との交流を図った。	派遣9名 (うち引率1名)
おいらせ町	学務課	語学指導等を行う外国青年招致事業	H30.4～H31.3	英語圏	外国語指導助手として外国人青年を招致し、英語教育の充実を図った。	招致3名
おいらせ町	社会教育・体育課	幼児英会話教室	通年	英語圏	町国際交流員を町内保育園及び幼稚園に派遣し、幼児期からの英会話学習を行った。	派遣1名
おいらせ町	企画財政課	国際交流員派遣	通年		地域の多文化共生意識を育むため、各種団体等に国際交流員を派遣した。	派遣1名
おいらせ町	企画財政課	生涯学習フェスティバル(ブース設置)	H30.10.20～ H30.10.21		おいらせ町生涯学習フェスティバルでの国際交流ブースに出展した。	参加者約100名
おいらせ町	企画財政課	国際交流協会補助事業	通年		おいらせ国際交流協会に補助金を交付した。	
大間町	企画経営課 産業振興課	地域のちからプロジェクト台湾PR事業	H30.12.14～16	台湾	台湾で行われた「日本東北遊楽日2018だいすき東北」に高校生と共に参加し下北をPRした。またオリジナルのメルティグッズとしてチケットホルダーを作成し、来場者にプレゼントした。	入場者：135,000人
東通村	教育委員会 教育指導課	平成30年度21世紀東通村教育デザイン海外研修事業	H30.8.2～ H30.8.11	ニュージーランド テプケ	中学生をニュージーランドに派遣し、現地の中学生と交流を図ったほか、日本の文化をプレゼンした。	派遣14名 (うち引率者3名)
東通村	教育委員会 教育指導課	セントカスパーツカレッジとの異文化交流事業	H30.4.1～ H31.3.31	ニュージーランド オークランド	小学校でそれぞれの文化紹介ビデオ交換、中学校でグリーティングカード交換、小・中学校でスカイプを使用したライブチャット(中学校は伝統文化紹介等)	小学校6年生 中学校3年生
三戸町	教育委員会	中学生海外派遣事業	H30.10.15～ H30.10.21	オーストラリア(ニュー サウスウェールズ州タ ムワース)	下記の目的で、町内の中学生を姉妹都市へ派遣する。 ①外国の生活習慣や文化に直接触れる ②ホームステイをとおしての国際理解の醸成と英会話学習 ③異文化交流による自国文化の理解	派遣13名 (うち引率3名)
三戸町	教育委員会	語学指導等を行う外国青年招致等事業	H30.4～H31.3	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致又は直接採用し、町内小中学校での英語教育の充実を図った。	招致1名、採用1名
五戸町	教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	通年	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致し、英語教育の充実を図った。	招致3名
五戸町	総合政策課	町国際交流事業交付金	通年		地域レベルでの国際交流活動の推進及び姉妹都市交流事業の充実を図るため、町国際交流協会に対し交付金を助成した。	
五戸町	教育課	五戸町中学生姉妹都市韓国沃川郡派遣研修事業	H30.8.8～8.12	大韓民国(忠清北道 沃川郡)	五戸町中学生を姉妹都市韓国沃川郡に派遣し、中学生交流や文化体験を通じて、相互理解と人材育成を図った。	派遣42名(中学生32名、引率者10名)
五戸町	総合政策課	姉妹都市韓国沃川郡訪問団受入事業	H30.10.21～10.24	大韓民国(忠清北道 沃川郡)	沃川郡守、議長、公務員、農業関係者が五戸町を訪問し、農業視察等を行った。	受入20名
田子町	政策推進課	ギルロイ市友好青年招致事業	通年	アメリカ (ギルロイ市)	国際交流推進員として姉妹都市から招致、町民との友好親善を図った。	招致1名
田子町	教育委員会	語学指導を行う外国青年招致事業	通年	英語圏	外国語指導助手として外国青年を招致、英語教育の充実を図った。	招致1名
田子町	教育委員会	中学生海外派遣事業	H30.10.26～ H30.11.2	アメリカ (ギルロイ市)	町内の中学生を姉妹都市へ派遣、ホームステイや現地中学生との交流を通じて異文化を体験した。	派遣22名 (うち引率5名)
田子町	政策推進課	青少年海外派遣事業	H31.1.4～ H31.1.12	アメリカ (ギルロイ市)	田子高校生を姉妹都市へ派遣、ホームステイや現地高校生との交流を通じて異文化への理解を深めるとともに語学力の向上を推進した。	派遣17名 (うち引率5名)
田子町	政策推進課	ギルロイ市高校生短期研修受入事業	H30.6.29～ H30.7.4	アメリカ (ギルロイ市)	ギルロイ市高校生の短期研修を受け入れ、ホームステイや児童生徒との交流により異文化への理解を深めた。	受入10名 (うち引率2名)
田子町	政策推進課	ギルロイ市姉妹都市提携30周年記念訪問	H30.7.25～ H30.8.1	アメリカ (ギルロイ市)	姉妹都市提携30周年を記念し、米国ギルロイ市を訪問。記念事業に参加し交流を深めた。	訪問19名
田子町	政策推進課	瑞山市訪問事業	H30.7.11～ H30.7.15	韓国(瑞山市)	姉妹都市交流の一環として韓国瑞山市を訪問、交流を深めた。	訪問7名
田子町	政策推進課	にんにくとべごまつり招待事業	H30.9.27～ H30.10.2	アメリカ(ギルロイ市) 韓国(瑞山市)	姉妹都市ギルロイ市、瑞山市からにんにくとべごまつりへ招待し町民との交流を深めた。	招待21名 (ギルロイ12名、瑞山9名)
田子町	政策推進課	国際理解推進事業	H31.3.17～ H31.3.20	台湾	青森県日華親善協会の実施する台湾交流事業へ参加。国際理解を深めた。	訪問2名
田子町	政策推進課	国際理解図書展示・貸出	H31.2.28～ H31.3.28	—	姉妹都市以外にも世界の国々の文化や言葉、習慣などを学ぶ機会として、図書を展示・貸出。	展示図書38冊

市町村名	担当部署	事業名	実施時期 (期間)	対象国 (対象地域)	事業概要	人員 (派遣・受入等)
田子町	政策推進課	町民外国語講座	通年	—	町民を対象とした外国語講座を実施。 (英会話教室、韓国語講座)	計54名受講
田子町	政策推進課	English Day Camp	H30.6.30	—	英語漬けの一日体験プログラムを実施。 講師：町GIR、ALT他	中高生18名参加
田子町	政策推進課	田子町国際交流推進事業費 助成	通年	—	田子町にんにく国際交流協会へ助成金交付	—
田子町	政策推進課	フィリピン共和国「マリアノ・マ ルコス大学」訪問	H31.1.23～H31.1.27	フィリピン共和国(イロ コス・ノルテ州)	フィリピンのにんにく生産・加工に関する情報収集及び、 大学や行政との連携に関する調査研究。	訪問8名
南部町	教育委員会 学務課	中学生海外派遣事業	H30.10.19～ H30.10.26	カナダ(ブリティッシュ コロンビア州・バン クーバー)	海外の文化、歴史及び産業等の視察並びに現地学生と の交流を行った。また、ホームステイを通じてコミュニケ ーション能力の向上を図った。	2学年生徒 23名 引率 5名 合計 28名
南部町	教育委員会 社会教育課	英会話教室	H30.9.1～ H30.11.24	—	米軍三沢基地内学校教師を講師に招き、町民を対象と した英会話教室を実施した。	クラス 10名 (延べ92名)
南部町	交流推進課	シンガポール個人農家民泊	H30.5.19～ H30.5.20	シンガポール	農家民泊(1泊)、農業体験や日本の文化交流を実施し た。	受入人数 4名
南部町	交流推進課	タイ個人農家民泊	H30.6.30～ H30.7.4	タイ国	農家民泊(4泊)、農業体験や日本の文化交流を実施し た。	受入人数 4名
南部町	交流推進課	台湾松山高級工農職業学校	H30.7.9～ H30.7.12	台湾	農家民泊(3泊)、農業体験や日本の文化交流を実施し た。	受入人数 16名
南部町	交流推進課	JICAアフリカアグリビジネス エコツーリズム	H30.9.6～ H30.9.7	アフリカ諸国	農家民泊(1泊)、農業視察や日本の文化交流を実施し た。	受入人数 4名
南部町	交流推進課	JENESYS2018ミャンマー	H30.11.1～ H30.11.4	ミャンマー	農家民泊(2泊)、農業視察や日本の文化交流を実施し た。	受入人数 13名
南部町	交流推進課	JENESYS2018アメリカ	H31.3.11～ H31.3.15	アメリカ合衆国	農家民泊(1泊)、地域学習や日本の文化交流を実施し た。	受入人数 25名
南部町	交流推進課	達者村パンキンパーティー	H30.11.10	アメリカ合衆国	町内及びアメリカ(米軍三沢基地)の家族を対象に、収 穫したかぼちゃを利用した交流事業を実施した。	参加人数 83名
南部町	交流推進課	木美土里日本現代農業交流 団	H30.6.17～ H30.6.18	中国	農業関連視察を実施した。	訪問人数 14名
南部町	交流推進課	木美土里日本現代農業交流 団	H30.8.29～ H30.8.31	中国	農業関連視察を実施した。	訪問人数 17名

資料：誘客交流課

第2節 科学技術に精通した人材等の育成

1 理数教育の推進（スーパーサイエンスハイスクール）

(1) スーパーサイエンスハイスクールについて

文部科学省では、科学技術、理科・数学教育に関する教育課程等の研究開発を行う高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に指定し、先進的な理数教育を通して、生徒の科学的能力及び技能並びに科学的思考力、判断力及び表現力を培い、将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成を図ることとしている。

この事業は平成14年度からスタートし、本県においては県立八戸北高等学校が平成17～21年度及び平成22～26年度の2期、県立三本木高等学校が平成22～26年度の1期指定を受け、本県の理数教育を牽引してきた。現在は、県立弘前南高等学校が平成28年度、県立青森高等学校が平成29年度に指定され、全国では約200校が指定されている。

(2) 指定校の取組

ア 県立弘前南高等学校

「科学教育プロジェクト～地域に学び社会に貢献する科学技術人材の育成～」をテーマとし、全生徒を対象に地域の科学資源を題材とした探究活動を行っている。SSHコースでは課題研究を通して、科学倫理を理解しながら実験の技能・技術を身に付けるとともに、科学的な思考力、実践力を高

め、さらに、科学英語を読み、実際に活用することで、国際的な視野を持った科学技術人材の礎を築くことを目的として実施している。

イ 県立青森高等学校

「学際的研究により新たな価値を創出できる国際的な科学技術系人材の育成」をテーマとし、課題研究を中核として、専門家の支援・協力のもと、科学的能力・科学的思考力を伸長する教育プログラムを開発するとともに人文・社会科学的視点からの考察を加え、企業・行政・NPOなど様々なステークホルダーとの対話・協働を進め、課題研究の成果を上げる取組を通して、多面的な考察力と新たな価値を創出する力を育成することを目的として実施している。

(3) 県教育委員会の取組

それぞれの指定校に対し、専門的見地から指導、助言に当たる運営指導委員会を設け、年2回実施している。SSH指定校は県内における理数教育を牽引する存在として位置付けており、先進的な実践例は各種事業、研修会等において紹介し、普及・啓発を図っている。

第3節 国際的に活躍できる次世代競技者の育成

1 本県の競技力の現状

本県の競技力向上の目安となる国民体育大会における男女総合成績の順位は、近年、低下傾向にあり、過去5年をみると、平成29年は30位台に回復したものの、概ね40位台が続いている。

第2-6-8表 国民体育大会における本県の種別獲得得点の推移（69～73回大会／競技得点のみ）

回数	年 (平成/西暦)	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	合計 天皇杯順位
69回大会	H26 2014	144.0	42.5	121.5	60.5	368.5
		186.5		182.0		43位
70回大会	H27 2015	121.5	41.5	116.5	43.0	322.5
		163.0		159.5		40位
71回大会	H28 2016	85.0	50.0	165.5	59.0	359.5
		135.0		224.5		40位
72回大会	H29 2017	194.5	32.0	167.5	33.5	427.5
		226.5		201.0		35位
73回大会	H30 2018	87.0	44.0	132.5	39.0	302.5
		131.0		171.5		42位

資料：スポーツ健康課

この原因としては、国民体育大会での獲得得点のうち6～7割を占めていた少年男女の成績が低下していることなどが考えられ、2025年に本県で開催予定の第80回国民スポーツ大会をはじめとした全国大会はもとより、国際的に活躍できる次世代競技者の育成が急務である。

また、世界で活躍できるトップアスリートになるためには、専門的な技能はもとより、世界のスポーツ情勢や最新のスポーツ医・科学情報、メンタルマネジメントや栄養学等、様々な知識や能力が必要とされるため、ジュニア期から、こうした分野に触れる機会を増やすことも重要である。

2 国際大会や全国大会で活躍できるジュニア選手の発掘・育成・強化

本県では、第80回国民スポーツ大会の本県開催を見据え、平成29年度に青森県競技力向上対策本部を設置し、平成30年1月に策定した「青森県競技力向上基本計画」に基づき、将来有望なジュニア選手を輩出するため、高い能力を有する小学生を県内から選抜し、日本スポーツ振興センター、日本スポーツ協会、青森県スポーツ科学センター、県内競技団体等と連携した各種育成プログラムを実施する「あおもりスポーツアカデミー事業」を実施している。

(1) 事業の趣旨・目的

国民体育大会をはじめとする全国大会や世界大会での活躍が期待できる、将来有望なジュニア選手を輩出するため、高い能力を有する小学生を県内全域から発掘するとともに、関係競技団体等と連携し、スポーツ医・科学を活用した本県独自の各種育成プログラムを実施する。

(2) 実施内容

ア 発掘プログラム

青森県内に住む小学校4年生、6年生を対象に選考会を実施し、運動能力が高く優れた素質を有する選手、または体格等に優れた選手を発掘する。

(ア) 一次選考会

小学校で行われる新体力テスト総合A判定の児童の中から、県内3会場で運動能力測定を実施し、その結果により各学年30名程度を選考する。

第2-6-9表 平成30年度発掘プログラム一次選考会実施状況

開催日	開催地	会場	測定内容	参加者数	
				4年生	6年生
10月20日(土)、21日(日)	八戸市	八戸市体育館	①身長・体重、②立ち幅跳び、③立ち三段跳び、④20M走、⑤メデイションボール投げ、⑥反復横跳び、⑦握力、⑧上体起こし	528名 (40名)	287名 (40名)
11月3日(土)、4日(日)	弘前市	河西体育センター			
11月10日(土)、11日(日)	青森市	マエダアリーナ			

※カッコ内は一次選考通過者数

資料：スポーツ健康課

(イ) 二次選考会

一次選考通過者に対し、保護者も含めた面談を実施し、本人の意思(保護者の意向)・健康状況等の確認を行う。

第2-6-10表 平成30年度発掘プログラム二次選考会実施状況

開催日	開催地	会場	参加者数	
			4年生	6年生
1月12日(土)	八戸市	八戸市立上長公民館	39名 (39名)	38名 (36名)
1月13日(日)	弘前市	弘前市総合学習センター		
1月14日(月)	青森市	青森県総合社会教育センター		

※カッコ内は二次選考後、確定した令和元年度あおもりスポーツアカデミー生(小5、中1)数

資料：スポーツ健康課

イ 育成プログラム

発掘プログラムによって選考した選手を対象に、スポーツ医・科学を活用した講義・トレーニングや、多競技種目の体験など、発達段階に応じた独自の育成プログラムを実施する。

(ア) 共通プログラム (3回)

第2-6-11表 平成30年度共通プログラム実施状況

	開催日	会場	実施内容
第1回	4月30日(月) (小学生、中学生合同開催)	マエダアリーナ	①トップアスリートプログラム 講演「トップアスリートを目指して ～あおもりから全国そして世界へ～」 講師：あおもりアスリートネットワーク代表 齋藤春香氏 ②身体能力開発プログラム 「コーディネーショントレーニング」 講師：(一社)BLUE ties Impression 代表理事 川戸元貴氏 「ビジョントレーニング」 講師：八戸学院大学 工藤祐太郎氏 ③医・科学サポートプログラム 「栄養・食生活サポート」 講師：日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 太田茂子氏
第2回	9月17日(月) (小学生対象)	マエダアリーナ	①医・科学サポートプログラム 「スポーツデンティストによる歯科指導」 講師：歯科医師、日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト 松山貴紀氏 「アスリート向けレシピの提供及び指導」 講師：管理栄養士 米谷瑞紀氏(17日) 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 太田茂子氏(24日)
	9月24日(月) (中学生対象)		②身体能力開発プログラム 「ファンクショナルトレーニングの実践」 ～自分の能力を知り、最大限にパフォーマンスを引き出そう！～ 講師：柔道整復師 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 大里洋志氏
第3回	2月16日(土) ～17日(日) (小学生対象)	マエダアリーナ他	①トップアスリートプログラム 「本県日本一選手から学ぼう！(講演&実技)」 講師：明治安田生命ボート部 木野田 沙帆子氏 「本県日本一スポーツを見学しよう！」 見学先：青森大学男子新体操部 ②医・科学サポートプログラム 「アスリート向けレシピの提供及び栄養指導」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 太田茂子氏 ③知的能力育成プログラム 「真のトップアスリートになるために」 ～男女7人制ラグビー日本代表チームの取組から学ぶ～ 講師：日本ラグビーフットボール協会代表強化スタッフ、 男女7人制日本代表コーチ 徳永 剛氏
	2月23日(土) ～24日(日) (中学生対象)		①トップアスリートプログラム 「本県日本一スポーツを見学しよう！」 見学先：青森大学男子新体操部 ②医・科学サポートプログラム 「アスリート向けレシピの提供及び栄養指導」 講師：日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 太田茂子氏 ③身体能力開発プログラム 「青森県スポーツ科学センター専門員によるトレーニング指導」 講師：青森県スポーツ科学センター専門員 田屋敷幸太氏、藤田恭介氏 ④知的能力育成プログラム 「真のトップアスリートになるために」 ～男女7人制ラグビー日本代表チームの取組から学ぶ～ 講師：日本ラグビーフットボール協会 男子セブンズユースアカデミーコーチ 坂本讓司氏

資料：スポーツ健康課

(イ) 競技プログラム（年8回・10競技）

競技団体等の優秀な指導者のもとで多競技種目を体験し、自らの得意な能力を理解しながら将来を見据え、自己の適性に合った競技種目を選択できる能力を育成する。

第2-6-12表 平成30年度競技プログラム実施状況

開催日	実施競技	会場
5月19日（土）	フェンシング	合浦小学校体育館（青森市）
7月1日（日）	なぎなた	スポーツプラザ藤崎（藤崎町）
8月3日（金）	トランポリン 水球	マエダアリーナ（青森市）
10月8日（月）	アーチェリー 相撲	みちぎんドリームスタジアム（青森市）
11月23日（金）	ソフトボール	青森中央学院大学（青森市）
12月9日（日）	体操競技	弘前学院聖愛高等学校（弘前市）
1月20日（日）	ハンドボール	青森商業高等学校（青森市）
2月3日（日）	ラグビーフットボール	青森高等学校（青森市）

資料：スポーツ健康課

第4節 地域づくりで活躍する若者の応援

地域産業を担う高度な専門的職業人材を育成し、また、地元企業に就職する若者を増やすとともに、地域産業を自ら生み出す人材を創出するために、大学や高等専門学校、専修学校等において、地元の地方公共団体や企業等と連携した取組を強化することとしている。

地元大学等への進学、地元企業への就職、都市部の大学等から地元企業への就職を促進するため、地方公共団体と大学等との連携により、地方における雇用の創出、若者の定着に向けた取組を促進することとしている。

都市地域から過疎地域等に移り、一定期間、地域協力活動を行いながら、当該過疎地域等への定住・定着を図る「地域おこし協力隊」を推進し、若者の持てる能力を活用した地域づくりを図ることとしている。

